

春季住民懇談会結果報告



平成26年度春季住民懇談会が5月15日(木)から29日(木)まで市内全7会場で開催しました。今回は「第5次赤平市総合計画後期実施計画」「平成26年度の主な施策と関連する予算」「市立赤平総合病院病棟建替事業」の概要を説明させていただき、皆さんからたくさんのご意見ご要望をいただきました。主な内容については次のとおりとなります。今後こうしたご意見等を参考に市政に反映してまいります。

福祉

Q1 今は4人に1人が60歳以上の時代になり、老々介護も増えて来ている。隣町では食事が付いている立派な介護施設が頻りに建設されているが、赤平ではそういう話はないのか。

A1 サービス付高齢者住宅と言いますが、月額14、15万円程度掛かるようです。民間が先行して行っているが、赤平では具体的な話はない。

Q2 特別養護老人施設に入所する際、市営と民営で金額的な差はあるのか。

A2 市経営と民間経営で金額の差はない。

Q3 人口減少問題は子供を産む女性の数が減少しているのが問題で、女性人口を増やせる独自政策が必要ではないか。

A3 女性も社会進出が進み働きながら子供を育てる時代となり、民間と協力しながら環境整備を進めることが必要。少しずつ環境づくりを整備したい。

Q4 若年層の増加を狙いとした施策があるが、会社や企業に保育所を設置することを検討してはどうか。

A4 若年層は子供を産み育てることのできる世代であり、

人口減少対策の観点からも特に重要である。保育所に関しては「子ども子育て会議」の中で幅広い意見をいただき検討したい。



Q5 高齢者の除雪補助事業は、自力で手続きを行うことが難しい方がいる。簡素化できないか。

A5 公費なので厳密に行う必要があるが、自力で手続きを行うことが難しければ、周りの住民の協力やヘルパー、ケアマネージャー、地域包括支援センターの職員も対応してきているので、そのことを今後も周知する。

Q6 高齢者の除雪補助事業の実績は。

A6 昨年の実績は、226件の申請中213件に補助している。

病院

Q7 病院の地中熱利用に当たって、民間の実績も聞いていると思うが実際のところどうなのか。

A7 民間の実績については、故障等の心配も含めて確認しているが、問題なく稼働し油代も確実に削減効果が出ている。地中にパイプを入れ地中熱の自然エネルギーを活用することで、安定的な冷房・暖房のエネルギーとして活用できるため、燃料費などを抑制できる。



Q8 平成24年10月に病棟建替事業の説明を受けているが、社会情勢や人口減など情勢も変化しているが、経営的に大丈夫なのか。

A8 社会情勢等も変化しているため、借金の返済期間を20年から15年に短縮し、改めて人口減の予想や震災復興の工事費の影響等を加味しながら返済計画を立てている。絶対とは言え

ませんが、より厳しい試算で計画を立てている。

Q9 今後の人口減少や医療費の高騰により、病院経営への影響が心配されるではないか。

A9 現在、病床の稼働率は100%に近く安定的に入院患者を確保している。今後も滝川市や砂川市の市立病院の地域連携のもと患者の受入れや紹介などと共に回復期の病院として対応していきたい。国の医療制度改革や診療報酬改定に対しても柔軟に対処していきたい。

Q10 医療機器が古くなってきたと言う事だが、MRI検査を受けるときに他の病院へ通わなければならない、導入の考えはないのか。

A10 MRIの設置には2億から3億円はかかり、メンテナンスも必要になる。導入しても整形外科の常勤医がいなかったため、使用頻度等からも経営的にはかなり厳しい。今後は、CTを充実していきたい。



Q 11 今後の医療機器の更新はどのように考えているのか。

A 11 年間平均4,000万円程度で更新を考えている。主に放射線科の機器が高額だが、最先端の高価な物は難しいが必要最小限の購入を検討していきたい。

Q 12 現状から見て総合病院という名前がどうか。

A 12 最近の自治体病院では「総合」という名前は用いておらず、診療科の現状から病棟の完成と共に名称の変更を予定している。

■ 学校

Q 13 中学生はスクールバスがなく、部活動が終わり茂尻新町・栄町の中学生は、国道から距離もあり、夜道を歩く場合に不審者を心配する声がある。

A 13 中学生は今年から民間バスを使用した通学となっている。民間バスを利用することで便数が増え便利な部分もあるが、当該地区は跨線橋の不審火も発生しているなど、安心して生徒が通学できるように警察と協力して取り組んでいきたい。



■ 道路・公園・住宅

Q 14 文京地区の緑橋改修工事については、20年近く前から要望しており、今回の改修工事はありがたい。

A 14 工事内容としては、車道を現行の4.0mから5.5m及び8.0mに改修し、歩道を2.0mで設置する予定。



Q 15 平岸新光町の公園の遊具が新しくなり、子供たちがたくさん遊ぶようになったので、簡易トイレでもよいから設置してほしい。



A 15 新光町の公園は児童公園規模であり、性格上から設置

は難しい。平岸中央公園等の規模になると設置している。



Q 16 江別市の市営住宅で高齢化や世帯員の減少によって、間取りの小さい部屋に引越してきる制度があるそうだが、赤平市でも考えているのか。

A 16 江別市は入居する際に条件付で実施している。当市では現在も要望があれば対応しているが実績は少ない。

Q 17 民間賃貸住宅家賃助成は結構だが、持ち家でなければ永住に繋がらないのではないかと心配。

A 17 40歳未満の方が赤平に住ん脈を得たり交流を深めることによって、赤平に永住していただくことが目的。特に新規就労者に助成制度を利用いただきたい。

■ その他

Q 18 美唄市の東明公園は、温泉やテニスコート、パークゴルフ場が隣接し、大変賑わっている。

る。エルム高原も似たような環境だが、うまく活用できないか。

A 18 以前、パークゴルフ場も検討したが、面積的に不足している。様々な方に利用いただきけるように色々な企画など含め考えていきたい。

Q 19 流政之氏の彫刻作品は、とても価値があるが、もっと市民に見てもらえるような告知やイベントを計画すべきではないか。

A 19 議会からも同様の指摘を受けており、赤平振興公社や観光協会なども連携し企画、PRに努めていきたい。



Q 20 道の駅の成功事例があるが、赤平市にも道の駅、もしくはそれに準ずる建物を考えられないか。

A 20 現状としては、財政的に厳しく予定はないが、魅力的な施設であるので、意欲的に考えていきたい。



Q 21 昨年、平岸小学校の跡利用関係で地域として要望書を提出しているが、進捗状況はどうなっているのか。

A 21 多目的な活用方向で総合的に検討している最中なので、もう少し時間をいただきたい。

Q 22 町内会館の運営が非常に難しく、今後維持することが難しい。

A 22 どの地域も世帯数や利用率の減少などから運営が厳しくなっており、施設の老朽化の問題もあって、地域の皆さんと協議し、平成27年度に施設整備方針を作る予定となっている。

住民懇談会の参加者が減少傾向にあります。今年の秋季にも住民懇談会を予定していますので、一人でも多くのご参加をよろしくお願いいたします。